

食事委員会の取り組み①

温かいものは温かいうちに



食事委員会の取り組みについてご紹介させていただきます。

① 温かいものは温かいままで

「厨房で調理された食事を温かい状態で召し上がっていただきたい」その思いを形にすべく、委員会で話し合いを重ね、平成二十七年四月から調理器具を使い、温かい状態で提供しています。開始してから「鶏肉が柔らかい」「温かい方がやっぱり美味しい」「食事の匂いが届いて食欲が沸く」とのお声をいただき大好評！食の向上に繋がり、出来たてに近い状態で召し上がっていただくことに成功しました。

『食の向上』の取り組み

『バイキング形式』復活



② 出来ることはご自分で

あいハート須磨は日常生活動作訓練の一つとして『バイキング形式』を取り入れていきます。ですが、ここ数年は職員側で取り分けてしまい、せっかくのバイキングテーブルを活用出来ていませんでした。食事とは、①目で確かめる。②取り分けてよそる。③席まで運ぶ。④楽しく食事をします。そこで、食事の提供方法を見直し、『バイキング形式』の復活に向けて取り組みを直しました。取り分けるメニューを一品ずつ増やし、利用者さん、お一人お一人に働きかけをしました。開始直後は数名だったのが、現在は八割程の利用者さんがバイキングテーブルを通られるようになり、私達も嬉しく思っています。

一方で、食べ終わった食器を片づけて下さる方は、残念ながら僅か2割程です。『下膳』も大切なリハビリの一つです。スタッフもサポートしていきます。では『バイキング形式』の浸透に向けて取り組んでいきます。

最後に『食の向上』を目指して、不定期で食のアンケートを実施しています。その他にも、何かご意見があればお気軽にスタッフまでお知らせ下さい。



食事委員会の取り組み②

姿勢がよくないと食べれない！



『食事姿勢』の取

食事の時間になると、デイフロアから移動していただき、外を眺めながら明るく開放的なフロアで、ゆったりお食事を楽しんでいただいています。ただ、ホテルのラウンジを思わせる家具は食事には不向きなのかもしれません。正しい食事姿勢とは、①前かがみの姿勢がとれる。②椅子に背もたれがあつて安心できる。③テーブルが高すぎない。③かかとが床に着くです。そのためには、テーブルや椅子がその人の身長にあつた高さになっていることも大切です。食事委員会では個々の姿勢に注目し、車椅子の方でも椅子に座っていただき、補助台や足台を用いて安定した姿勢が保てるように取り組んでいます。

例えばNさんは拘縮があり、リクライニングの車椅子を使用しています。椅子に座り直すと足が床に着かず、スタッフが身体を支えないと座位を保つことが出来ません。その為、全面的な介助が必要でした。これでは食べ物が飲み込み難いばかりか、何かの拍子に氣道に入り込んでしまう可能性があります（誤嚥）。その為、椅子のクッションを工夫し、また拘縮がある足は、足が床に着くように高い足台を使用しました。



その結果、安定した座位姿勢を保つことに成功しました。するとどうでしょう？ご自分でご飯を食べることが出来、介助の必要がなくなりました。

これから委員会では、正しい姿勢を保つことが出来るよう『考える杖』となつて皆様のお食事を支援していききたいと思っています。

2015あいハート須磨「笑顔あふれる夏まつり」

八月二十二日（土）は、お天気にも恵まれ、『あいハート須磨夏まつり』がありました。今年は設立二十周年という記念の年、職員の気合も十分です。エイサーチーム『結』は、毎年演舞しており、五月には『神戸まつり』にも出演を果たし、メンバーのチームワークもバッチリ！今年はメンバーも含めて三十人以上で踊りました。戦後七十年を迎え、お年寄りの方へ敬意を表し、思いを伝えたい『時を越え』。この曲は歌を通して戦争の話しを語り継ぐものです。その他、計四曲を踊らせていただきました。演舞をご覧になった皆さんからは「良かったよ」と声を掛けていただきました。私達の思いを伝えることが出来たと実感しています。

今後も年忘れ会、新年会等の行事で披露したいと思っております。楽しんでくださいね！



十月の予定

ミュージックセラピー

6（火）

アコーディオン演奏

10（土）

できたて食堂『チキン南蛮』

15（木）

ミュージックセラピー

19（月）

お誕生日会

19（月）～25（日）

フラワー教室

21（水）

20周年記念行事

26（月）～28（水）

ハーモニカ演奏

未定